

箏

(こと) の奏で

日本語をうたう

ーかわいい こわい わらべうた & 現代のわらべうた 自然崇拜と般若心経ー

2013年2月9日(土) 17:00~18:30

神戸ポートアイランド・ジーベックホール

078・303・5600 <http://www.xebec.co.jp>

出演 畑 儀文 中川佳代子 泉 雅一郎 詩・新訳提供 山尾三省 伊藤比呂美 作曲 藤枝 守

前売一般 3,000円 (当日 3,500円) 学生 1,000円 小・中・高生 500円
全席自由

主催・お問い合わせ・チケット販売: パフォーマンス イン ミュージアム実行委員会

078・822・2545

福島と各地の子どもたちに、「光の鳥」が描かれたハガキに絵やメッセージを描いてもらい、各地で交展展を開催、その会場来場者も参加出展する「東北へのエール参加 光の鳥プロジェクト」を特別展示します。ご高覧下さい。



第一部 かわいい こわい わらべうた

歌/畑 儀文 箏/中川佳代子

マザーグースもそうですが、子どもの遊び歌(わらべうた)の歌詞は教訓…厳しい社会を反映したもの、危険と隣り合わせだと知らせるもの…とけっこう恐い内容。しかし、ユーモアあり、ズッコケあり、ほのぼののあり…の世界です。普段あまり聴くことのできない、もともとの歌詞で歌います。

☆参加してコーナー

だれもが知っている童謡をみんなで歌いましょう…。

☆スペシャルコーナー

シューベルトを原語・箏の伴奏で歌います。子守唄、野バラ

第二部 現代のわらべうた 自然崇拝と般若心経

作曲/藤枝 守

1. 山尾三省詩集「びろう葉帽子の下で」より

《森について》～山尾三省のコトバによるウタ～2013 箏歌ヴァージョン (初演)

箏歌/中川佳代子

《聖老人》2013version～謡の声と箏の声による～山尾三省へのオマージュ (初演)

謡/泉 雅一郎 箏歌/中川佳代子

東日本大震災と福島第一原発事故を受け、三省さんの三つの遺言を憶いました。

その遺言について妻の春美さんは

「日本中の川の水を飲めるようにしたいという願いは、阪神淡路大震災の時に飲み水に困ったという話から発願したものでした。原発から自然エネルギーへ、憲法九条を世界の九条へ、という三つの願いは人類が生きのびていくためには叶えねばならない願いであるでしょう」と記します。

詩集タイトル「びろうは帽子の下で」は、三省さんが1986年チェルノブイリ原発事故直後から数ヶ月間に書かれた「びろうは帽子の下で」という「その二十三」までである一連の詩から名付けられました。

2. 伊藤比呂美新訳『般若心経』(2010年著「読み解き『般若心経』」より)

自由自在に 世界を 観(み)ながら 人々とともに 歩いていこう… (以下略)

☆参加してコーナー

歌づけ「般若心経」は、子守歌のように母親が子どもに歌いきかせるイメージ。みんなで最初のところを練習しましょう…。

《歌づけ「般若心経」

～伊藤比呂美新訳「般若心経」～テノールバージョン (初演)

歌/畑 儀文 箏/中川佳代子



中川佳代子



Photo by EIJI SHINOMARU 畑 儀文

○詩/山尾三省(やまお・さんせい 詩人)1938年東京・神田生まれ。43年～48年山口県

油谷町(現・長門市)に疎開。58年早稲田大学文学部西洋哲学科に入学。60年安保闘争に参加後、大学を中退。67年「部族」と称する、対抗文化コミュニケーション運動を起こす。73年インド・ネパールの聖地を巡礼。75年東京・荻窪の「ほびつと村」の創設に参加し、無農薬野菜の販売を手がける。77年家族とともに、屋久島の一湊(いっそう)白川山(しらこやま)に移住し、「耕し、詩作し、祈る」暮らしを続ける。01年8月28日、逝去。主な著書は、単行本『聖老人』(野草社)『緹文杉の木陰で』(新宿書房)『屋久島のウパニシャット』(筑摩書房)『法華経の森を歩く』(水書坊)『カミを詠んだ一茶の俳句』(地湧社)『アニミズムという希望』(野草社)『森羅万象の中へ』(山と溪谷社)『立松和平・山尾三省対談集 瑠璃の森に棲む鳥について』・『同2 水晶の森に立つ樹について』(文芸社)ほか、詩集『びろう葉帽子の下で』(野草社)『新月』(くだけ社)『森の家から』(草光舎)ほか。

○現代語訳/伊藤比呂美(いとう・ひろみ 詩人・小説家)1955年東京生まれ。青山学院大学入学後から詩を書き始め、78年に第16回現代詩手帖賞を受賞してデビュー。作品に「ラニーニャ」(第21回野間文芸新人賞、99年)「河原荒草」(第36回高見順賞、06年)「とげ抜き 新築鴨地蔵縁起」(第15回萩原朔太郎賞、07年、第18回紫式部文学賞、08年)など。84年から熊本市に、97年から米国カリフォルニア州に在住しつつ、熊本市とカリフォルニア間を往復する。08年熊本文学隊を旗揚げ。11年より熊本学園大学招聘教授。

○謡/泉 雅一郎(いずみ・まさいちろう 観世流シテ方)1954年生まれ。観世流シテ方、故大槻秀夫・大槻文蔵両師及び父故孝泰に師事。観世会・鍊仙会会員、大槻清韻会評議員、中央社会保険健康センター講師ほか。重要無形文化財総合指定保持者認定。

○作曲/藤枝 守(ふじえだ・まもる 作曲家)1955年生まれ。カリフォルニア大学サンディエゴ校音楽学部博士課程修了。博士号(Ph.D.)を取得。作曲を湯浅譲二、モートン・フェルドマンらに師事。合衆国滞在中にハリ・パーチ、ルー・ハリソンに影響されながら、純正調によるあらたな音律の方向を模索。また、コンピュータを援用したパフォーマンスやサウンド・インスタレーション、ジャンルを超えたさまざまなコラボレーションなどを行なっている。近年は、植物の生体データに基づく『植物文様』という作曲シリーズを展開。また、音律の可能性を追求する合奏「モノフォニー・コンサート」を組織。00年日本文化芸術財団から奨学金が受給される。九州大学大学院芸術工学院・教授。東京・福岡在住。http://www.fujiedamamoru.com/

協力: 山尾三省記念会 花外楼 八百屋ろ アトリエ太陽の子

アーツ☆エンターテインメント学院 FUKUSHIMA ART プロジェクト

○企画制作・美術: 伴野久美子(ばんの・くみこ 現代美術家) http://www.bankumi.com/

○歌/畑 儀文(はた・よしふみ 声楽家)兵庫県篠山市生まれ。大阪音楽大学大学院修了。1979年大阪にて、小林道夫氏の伴奏による初リサイタルを行う。以後テノールソリストとして、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団ホルン奏者ペーター・ダム氏との共演、イェルク・デームス氏の伴奏による数多くのリサイタル等で大きな成果をおさめた。91年オランダ・アムステルダムにおいて、バロック歌手として高名なマックス・ファン・エグモント氏のもとで研鑽を積む。以後オランダ各地において、受難週には、エヴァンゲリストとして招かれ、近年はドイツ・ライプツィヒにおいてバッハ作品のソロを務める。93年～99年シューベルト歌曲全曲演奏。日本コロムビアから CD「日本のうた」「新しい日本のうた」「トスティ歌曲集」「昭和のうた」「美しき水車小屋の娘」をリリース。大阪文化祭本賞、咲くやこの花賞、大阪府民劇場賞、坂井時忠音楽賞、兵庫県芸術奨励賞、兵庫県文化賞等受賞多数。丹波の森国際音楽祭シューベルトティアードたんば音楽監督。日本リードオルガン協会会員。

○箏・箏歌/中川佳代子(なかがわ・かよこ 箏奏者)箏・三絃を沢井忠夫氏・沢井一恵氏・岩堀敬子氏、20絃を吉村七重氏に師事。高崎芸術短期大学・NHK邦楽技能者育成会卒業。1989年 CD「沢井忠夫合奏団の世界」が文化庁芸術作品賞受賞。94年青山音楽賞受賞。98年文化庁芸術研修員認定。02年賢順全国箏曲コンクール最高位「賢順賞」受賞。07年アジアツアー(文化庁助成公演)、08年モスクワ・サンクトペテルブルグにてソロ公演、韓国晋州国際交響楽団定期演奏会に20絃ソリストとして招かれるなど海外公演多数。現代音楽の初演や即興、洋楽器やダンスとの共演など活動範囲は広い。沢井箏曲院所属・師範、沢井忠夫合奏団団員、モノフォニーコンサートメンバー、京都教育大学附属京都小中学校箏講師。

【チケット販売・お問い合わせ】

●パフォーマンス イン ミュージアム実行委員会 Tel&Fax078・822・2545 e-mail bankumi@pearl.ocn.ne.jp (件名「わらべうたの件」と明記してください)